

しょうがい学生支援室では、
みなさんのお話を聞き、
それぞれに応じた
サポートをしています。



…例えば

めくってみてね

お気軽に
しょうがい学生支援室に
来てくださいね。



男子 WC	多目的ルーム	しょうがい学生支援室	教材ラボ	資料分析室
エレベーター				
教員研究室 332	教員研究室 331	国語教育器材室	面談・検査室	カンファレンスルーム

しょうがい学生支援室は
3号館3階にあります。

しょうがい学生支援室 について

宮城教育大学は、教員養成大学として、将来教員を目指す学生の育成を行っています。

また、本学には特別支援教育専攻もあり、専門性を育てるとともに、人にやさしい大学作り、ボランティア精神の涵養にも力を入れ、しょうがいのある学生の修学の支援に取り組んでいます。



病弱・虚弱部会 について

各しょうがいごとに部会を設けています。病弱・虚弱部会は専門教員を中心として、本学に在籍する病弱・虚弱学生（精神しょうがい含む）に対して取り組みを行っています。



部会長 植木田潤



しょうがい学生支援室 病弱・虚弱部会

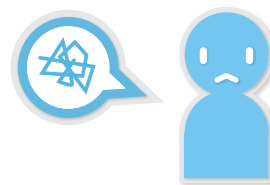


MIYAGI UNIVERSITY OF EDUCATION

国立大学法人
宮城教育大学

日常的にこんなことはありませんか？

- 体調が悪くなったときに、ゆっくり休める場所がない。
- 定期的な通院で講義を欠席しなければならない。
- 毎日決まった時間や必要時に服薬や補食等のケアをしなければならないが、授業中に行うことには抵抗がある。
- 病状や体調の変化に伴い、授業の内容によっては参加が難しいものがある。
- 季節や時間帯によって体調や症状に波があるため、周囲に「怠けている」「サボっている」等と思われるのでは…と心配がある。
- 自分の体調や症状のことを周囲に伝えた方が良いのか迷っている。
- このような状態で教育実習ができるのか、将来教員として働くことができるのか不安である。



こんな解決策もあります。まずは相談してみませんか？

- 支援室には、ソファやベッドも備えています。休憩をとることやクールダウン等ができます。
- 病状により配慮等が必要な授業への参加の仕方や授業中の服薬等について、授業担当教員にどのように伝えるかを相談することができます。
- 自分の体調について周囲に伝えることで、周囲からの協力を得やすくなります。どのように周囲に伝えるか一緒に考えましょう。
- 自分の体調を改めて振り返ることで、より良い体調管理の方法を見つけたり、無理のない大学生活の過ごし方、大学内で病状が変化した際の対応方法を事前に把握すること等ができます。



少しの工夫と
周囲の理解で
無理し過ぎず
あなたのペースで
大学生活を送ること
ができるように
なります。



しょうがい学生支援室 (3号館3階)

Tel/Fax 022-214-3651

Mail csd@grp.miyakyo-u.ac.jp

9:00～17:00 (月～金(祝日除く))

コーディネーター：前原・及川・佐藤

教職員の皆さんからの相談もお待ちしております。